

高山市全小・中学校ユネスコスクール登録記念事業

未来講話

高山市の全小学校5年生約800人が11月15日、市民文化会館大ホールに集まり、市内全小中学校がユネスコスクールに認定された記念事業として未来講話を行いました。

自分たちが学習している郷土についての取り組みを代表校が発表し、中部大学の先生から講評していただきました。その後、それぞれの学校で取り組む郷土学習の方向を探るために、「輝く未来を拓くために成長し続けよう」をテーマとする講演を聴きました。

☎ 学校教育課 ☎ 35-3154

南小学校の発表

環境をテーマにした学習の中から、飛驒の森林や自然について、「豊か」をキーワードに、人と自然とのつながりや大切さについて発表しました。プレゼンでは、はきはきと分かりやすい話し方で伝え、市の林務課からプレゼントされた飛驒産の杉の木で作られた鉛筆を、会場にいる5年生に渡しました。



講演 ～中部大学前学長 山下 興亜氏～

「生きる力とは変化することである。輝く未来を拓くためには、変化を恐れず、目標(夢)を育むことが大切である。」と、映像を交えて具体的に教えていただきました。5年生の心に届く、素晴らしい講演でした。

オープニング

清見小学校6年生による迫力ある「清見ちびっこ太鼓」の演奏。伝統を感じさせる一体感のある演奏を堂々と披露しました。



朝日小学校の発表

朝日町秋神のすずらん大根、わらび粉、天狗祭りを通して、秋神の人々は、厳しい自然環境の中でも工夫や努力を続けて生活してきたことを学びました。その秋神に対する愛情や誇りを、寸劇を使った楽しい発表で伝えました。朝日小5年生全員で脚本から考え、工夫を凝らした演出でした。



ユネスコスクールとは

ユネスコスクールは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールを持続可能な開発のための教育の推進拠点として位置付けています。現在、世界180か国以上の国・地域で10,000校以上のユネスコスクールがあります。日本国内の加盟校数は、「国連持続可能な開発のための教育の10年」が始まった平成17年から飛躍的に増加しており、平成29年10月時点で1034校となり、1か国当たりの加盟校数としては、世界最大となっています。

(文部科学省ホームページより)